

木材需給動向について (全国)

2023年8月
林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月
中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

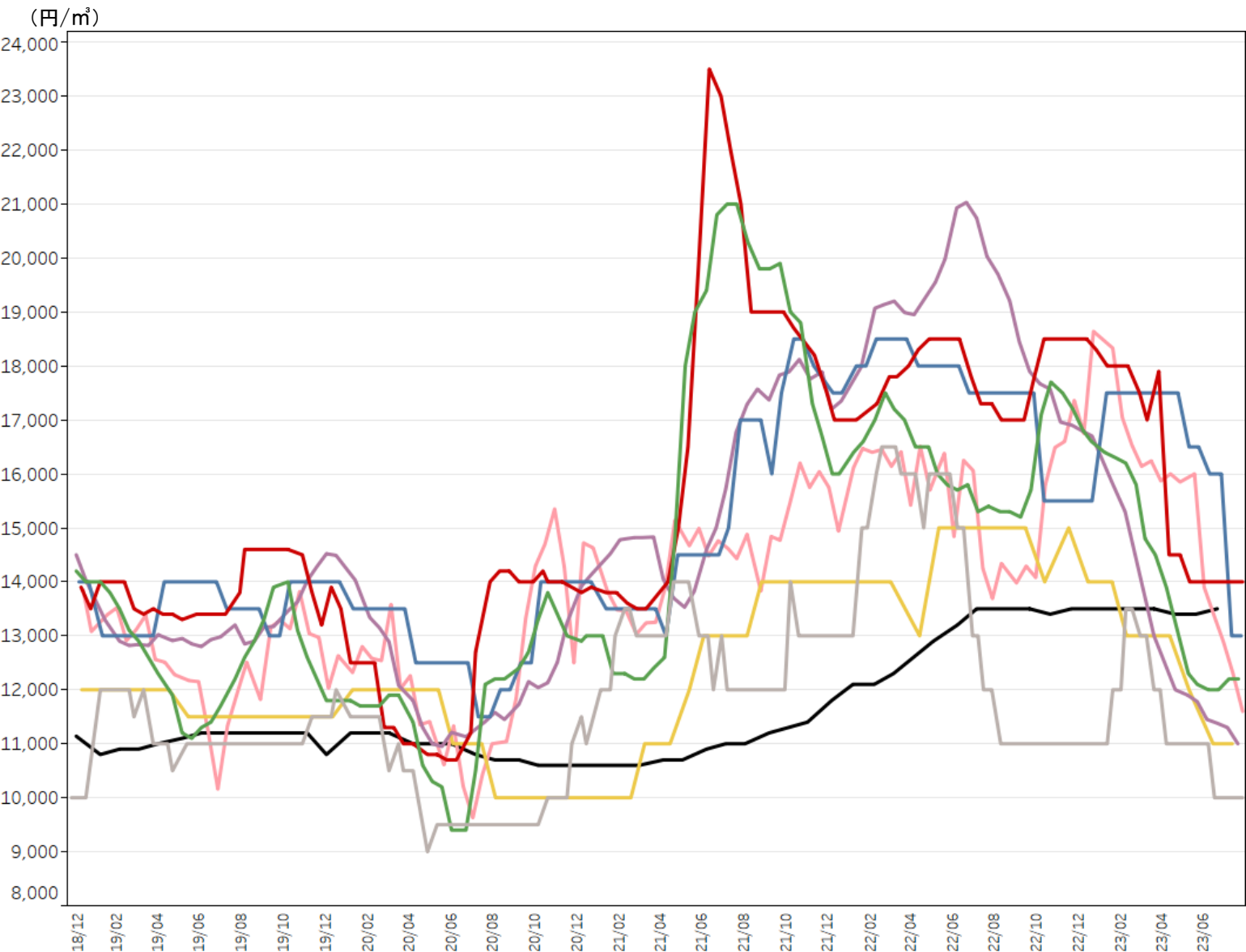
(3) チップ（全国）

3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,000円~14,000円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

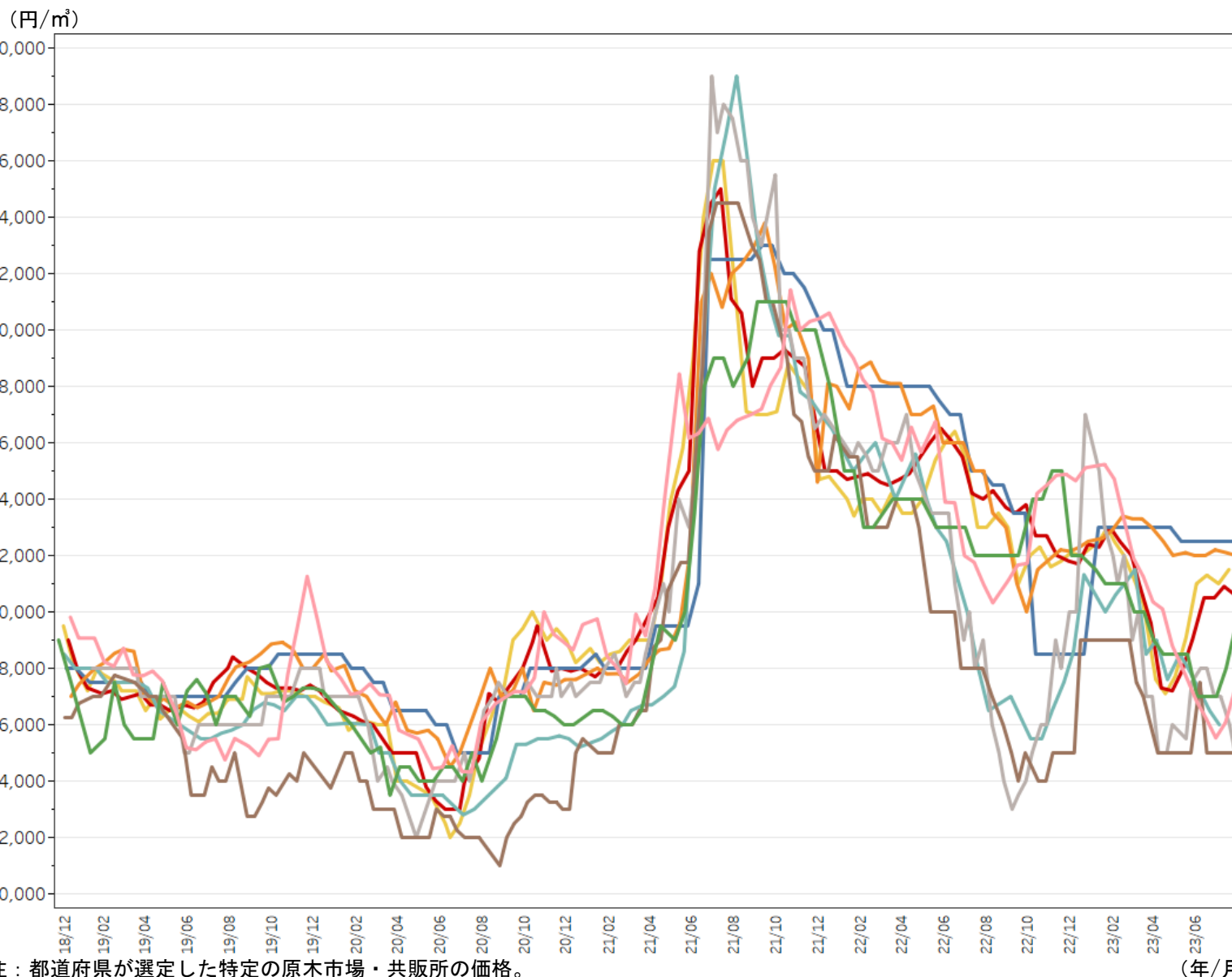
都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,500	13,200	102%
秋田県	11,000	20,030	55%
栃木県	11,600	13,690	85%
長野県	11,000	15,000	73%
岡山県	10,000	12,000	83%
高知県	13,000	17,500	74%
熊本県	14,000	17,300	81%
宮崎県	12,200	15,400	79%

※北海道については6月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については7月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円～22,500円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	17,260	20,960	82%
静岡県	19,500	22,000	89%
兵庫県	15,000	18,000	83%
岡山県	15,000	19,000	79%
広島県	16,000	20,000	80%
愛媛県	22,000	25,000	88%
高知県	22,500	25,000	90%
熊本県	20,600	24,000	86%
大分県	21,500	23,000	93%

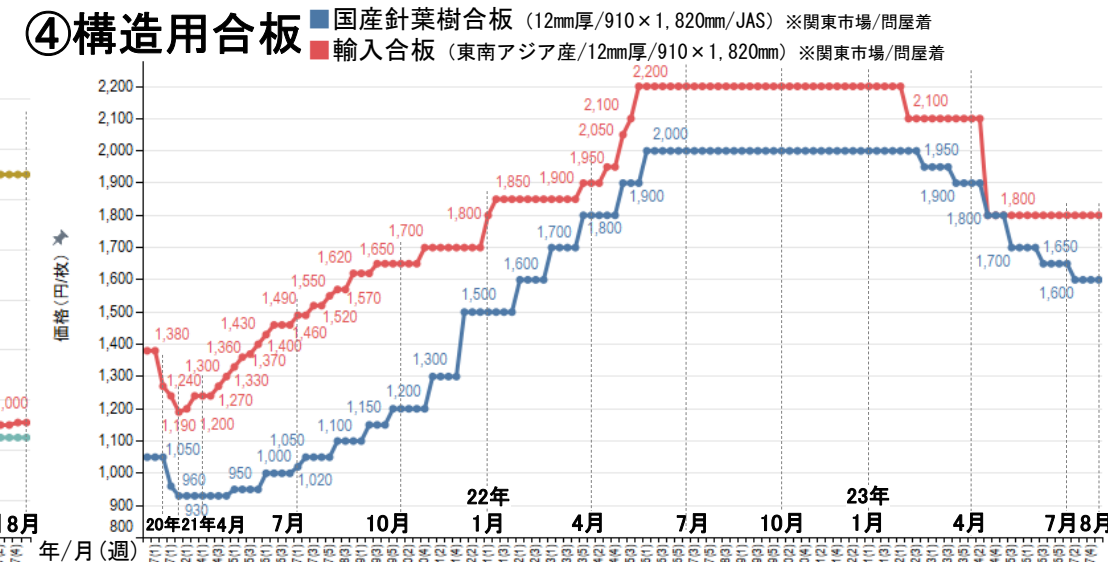
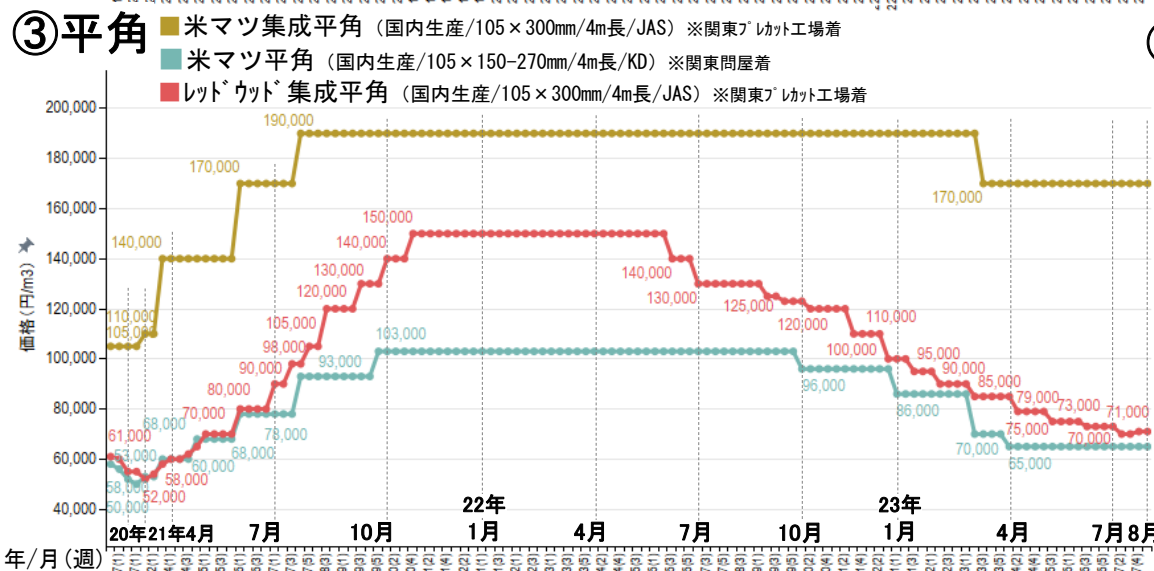
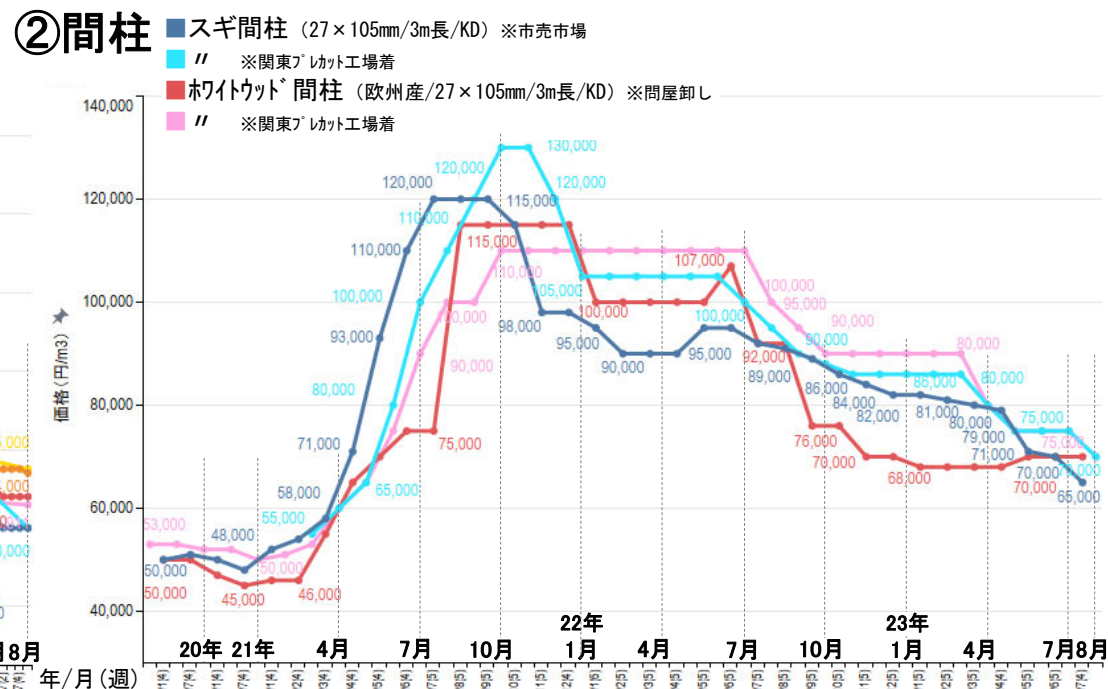
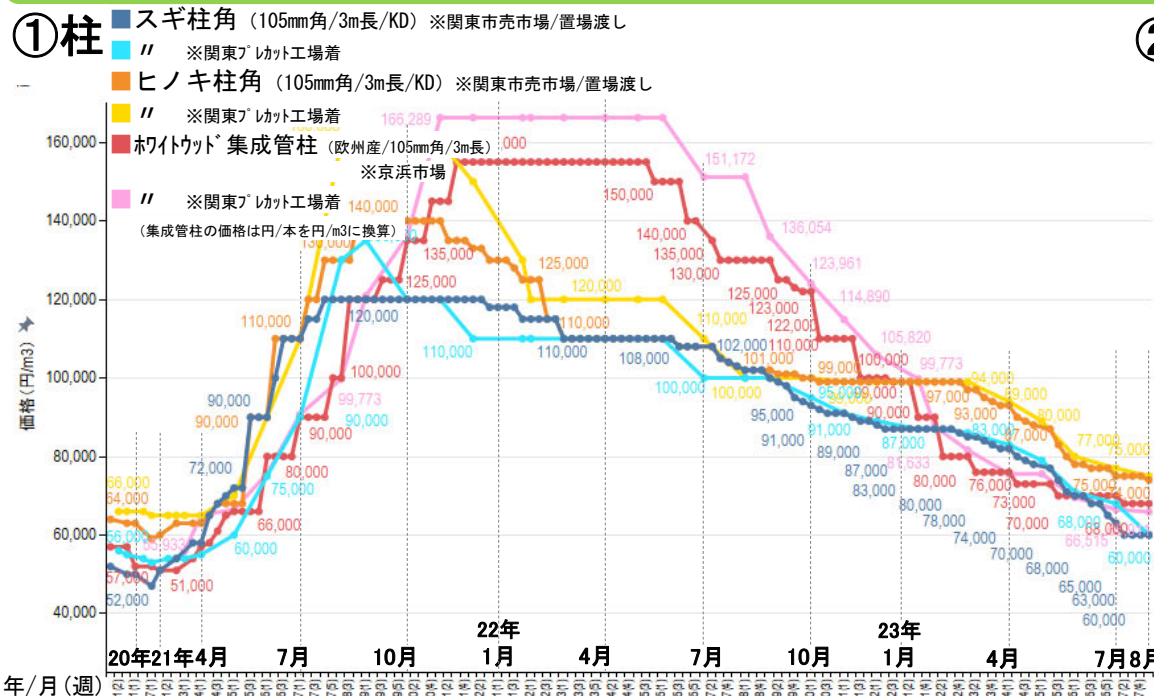
※各県7月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

- 令和3年(2021年)は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4年(2022年)以降も、以前に比べて高値圏で推移。

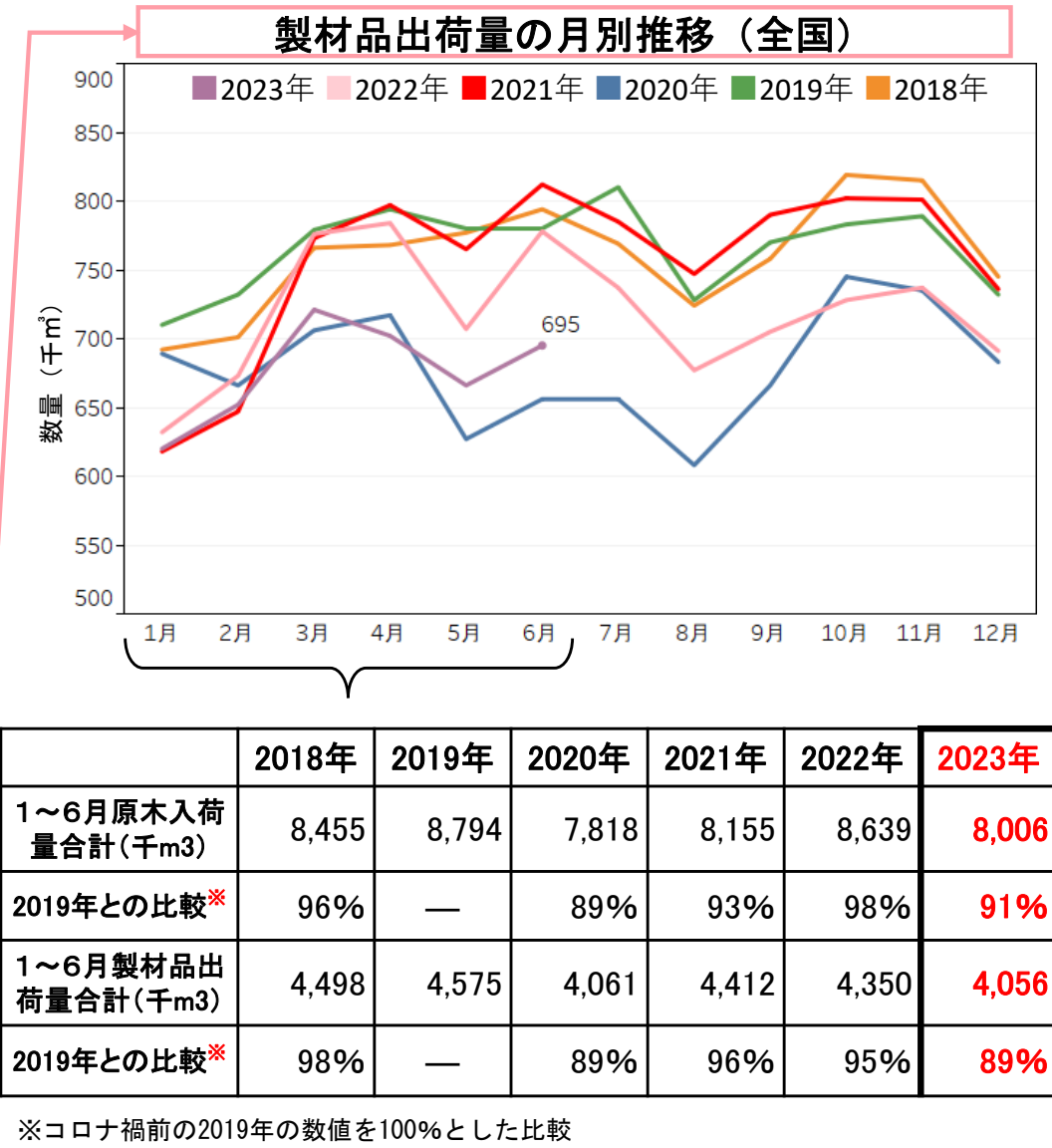
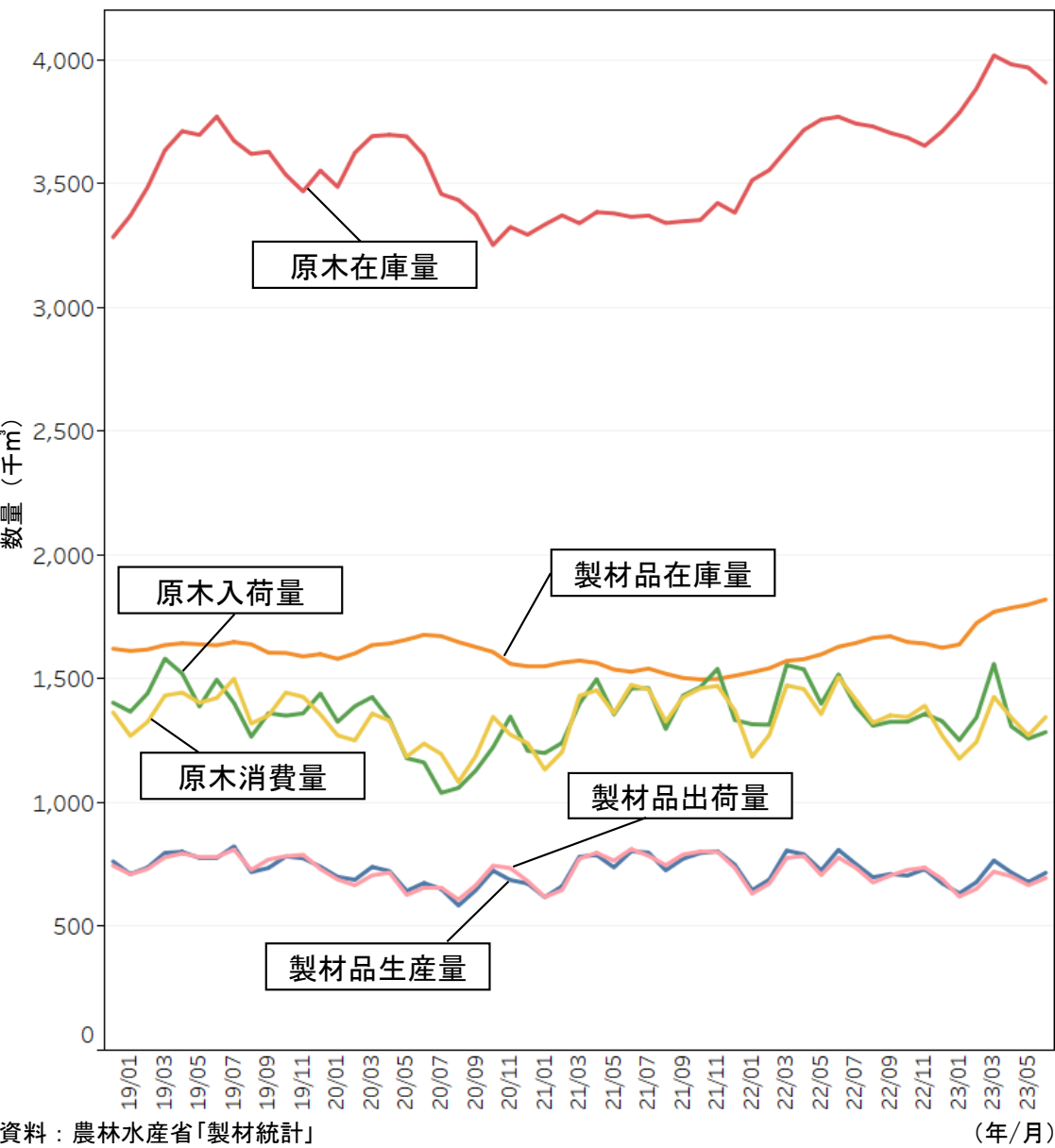


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

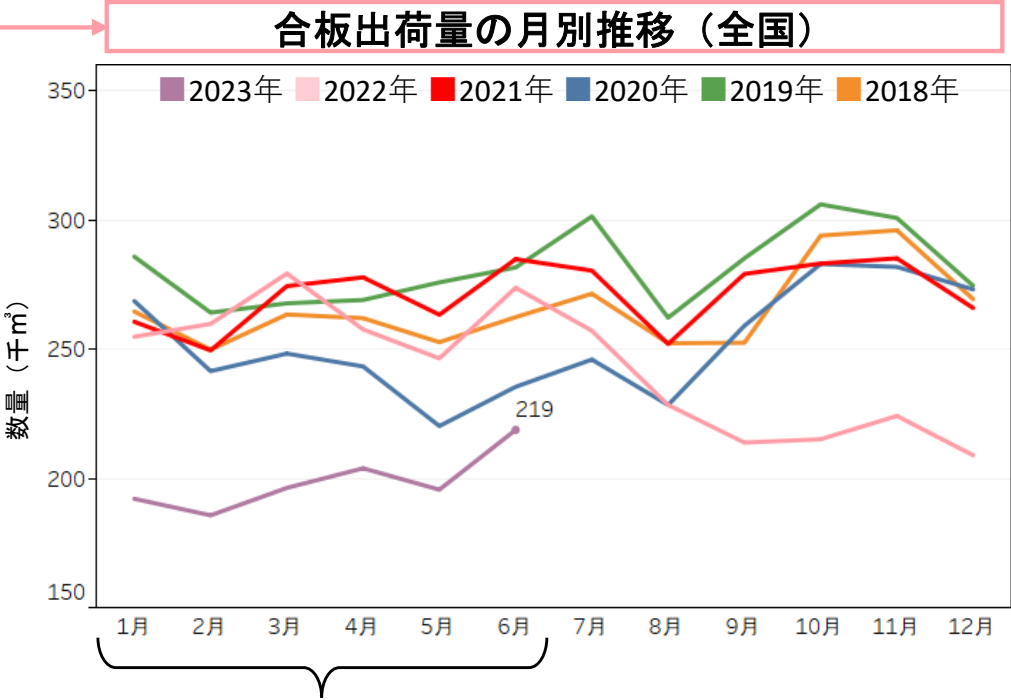
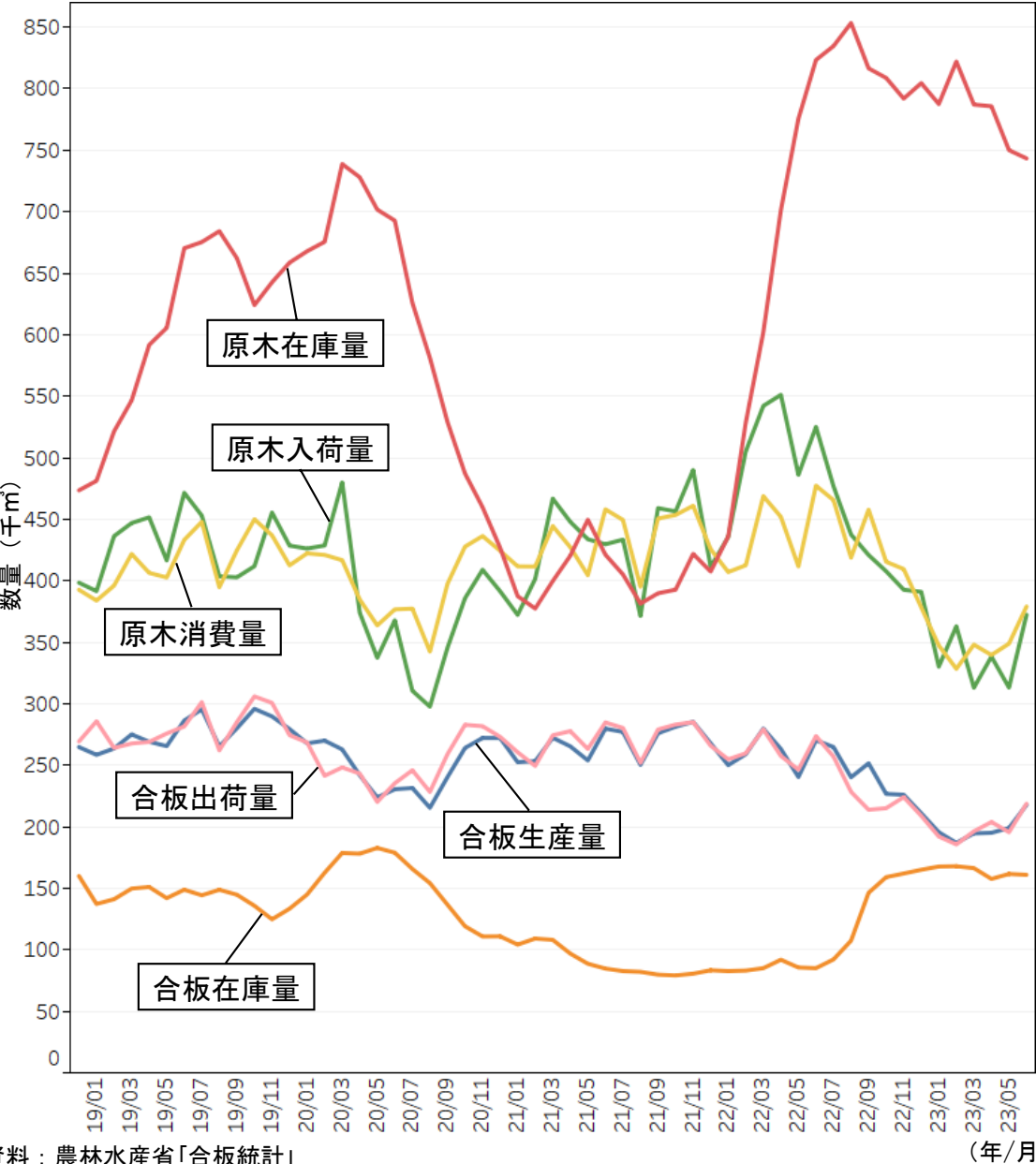
(1) 製材 (全国)

- 2023年1～6月の原木の入荷量は8,006千m³ (2019年比91%)。
- 同様に製材品の出荷量は4,056千m³ (2019年比89%)。



(2) 合板 (全国)

- 2023年 1 ～ 6 月の原木の入荷量は2,030千m³ (2019年比78%)。
- 同様に合板の出荷量は1,192千m³ (2019年比73%)。

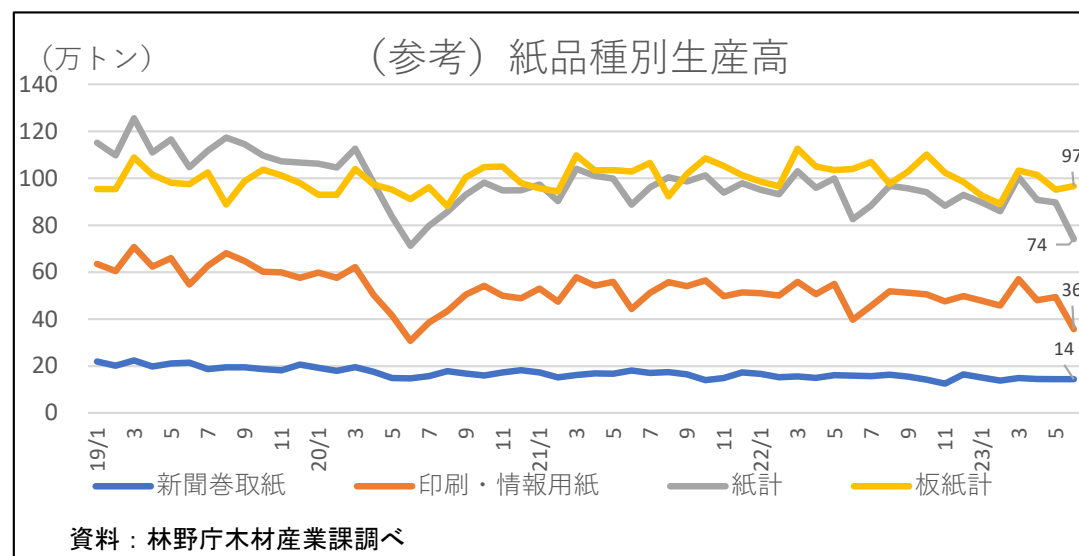
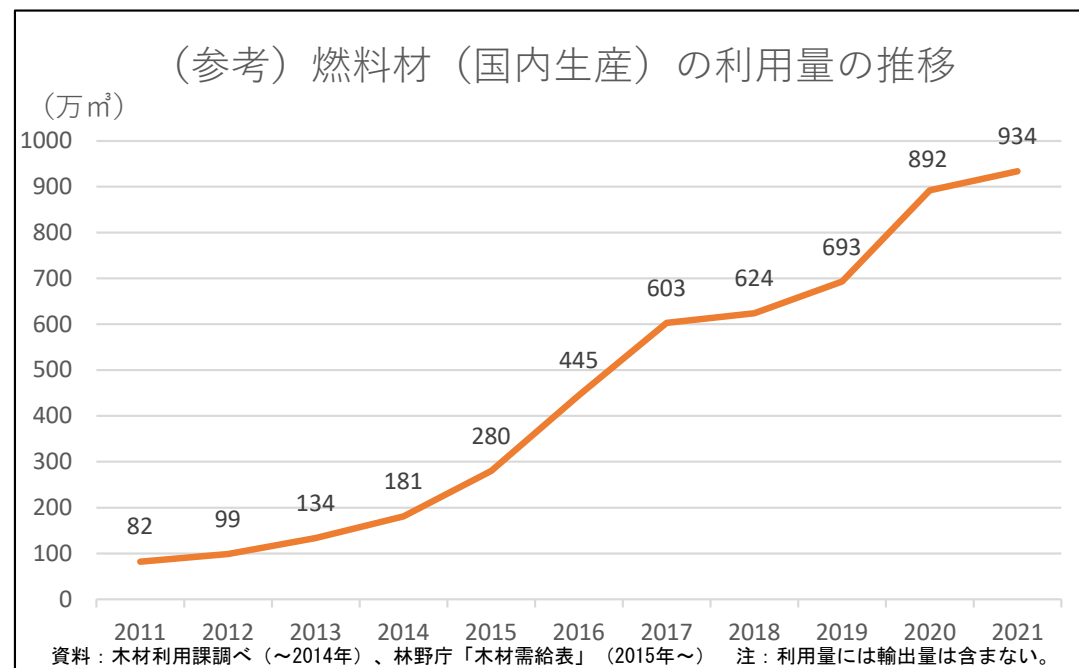
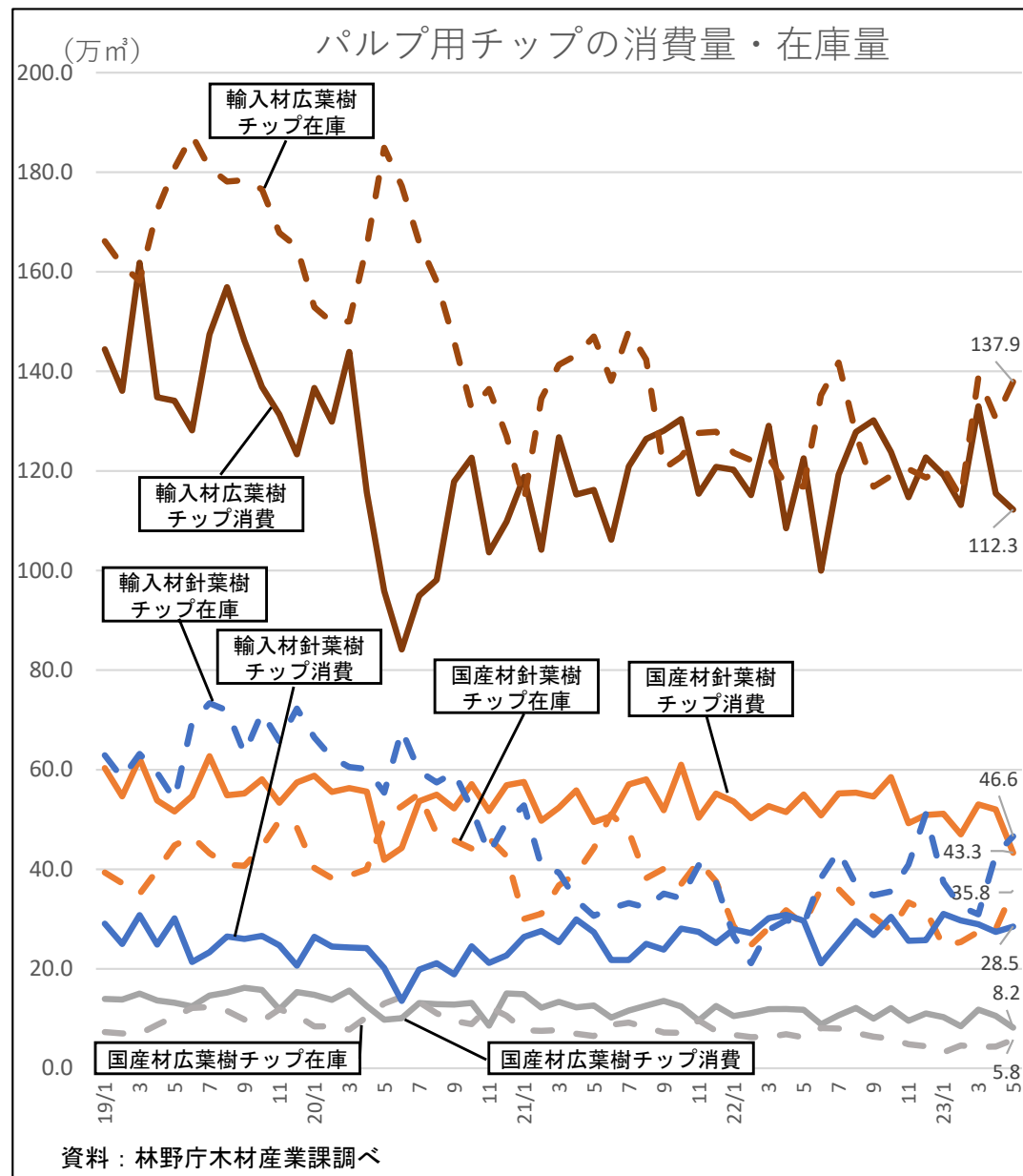


	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～6月原木入荷量合計(千m3)	2,505	2,614	2,414	2,552	3,045	2,030
2019年との比較※	96%	—	92%	98%	116%	78%
1～6月合板出荷量合計(千m3)	1,555	1,644	1,457	1,610	1,571	1,192
2019年との比較※	95%	—	89%	98%	96%	73%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(3) チップ（全国）

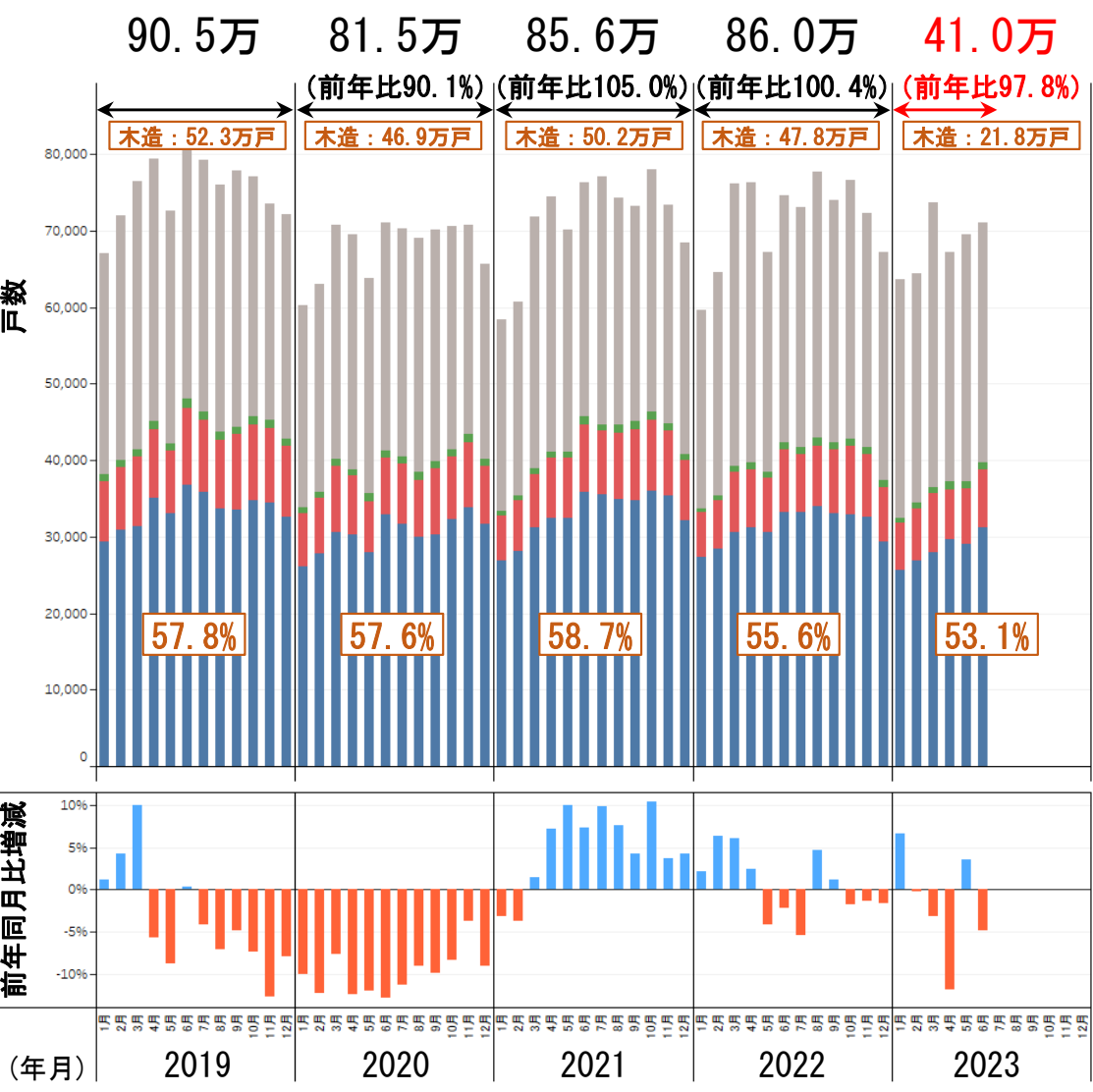
- パルプ用チップの消費について、2023年5月の輸入材広葉樹チップの消費量は112.3万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は43.3万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約11倍）。



3 住宅着工戸数の動向（2019年1月～2023年6月）

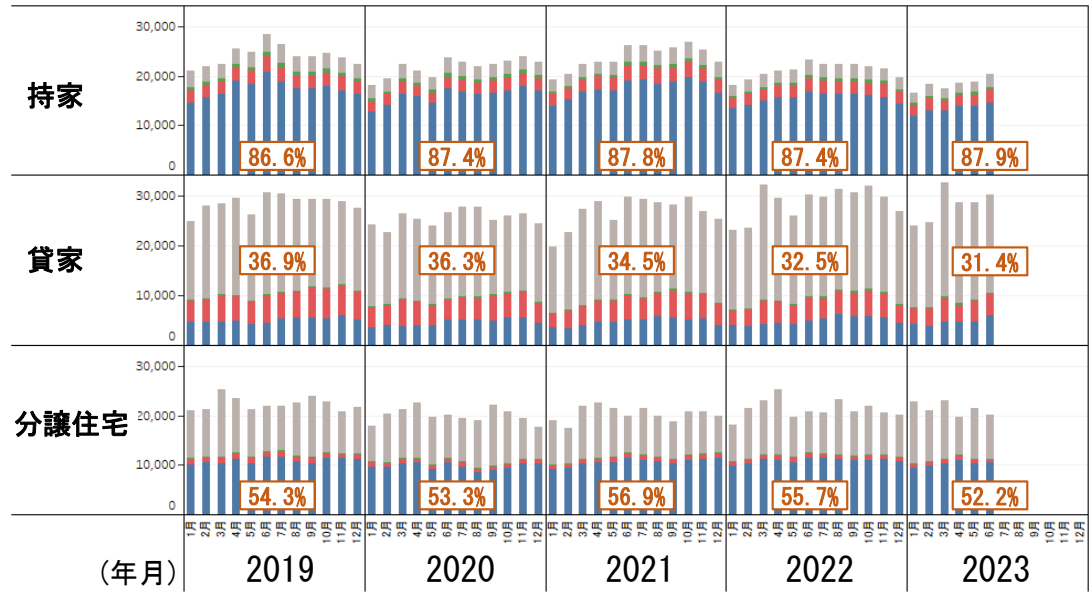
- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）となり、2021年の水準を下回った。
- 2023年1～6月の新設住宅着工戸数は、41.0万戸（前年同期比97.8%）、このうち木造住宅は21.8万戸（同95.1%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2023年 1～6月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	409,549	418,559	97.8%	412,010	99.4%
■非木造	191,911	189,715	101.2%	176,192	108.9%
■木造	217,638	228,844	95.1%	235,818	92.3%
■木造プレハブ	5,026	4,514	111.3%	4,751	105.8%
■2×4	42,103	42,960	98.0%	44,122	95.4%
■在来軸組	170,509	181,370	94.0%	186,945	91.2%
□木造率	53.1%	54.7%		57.2%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

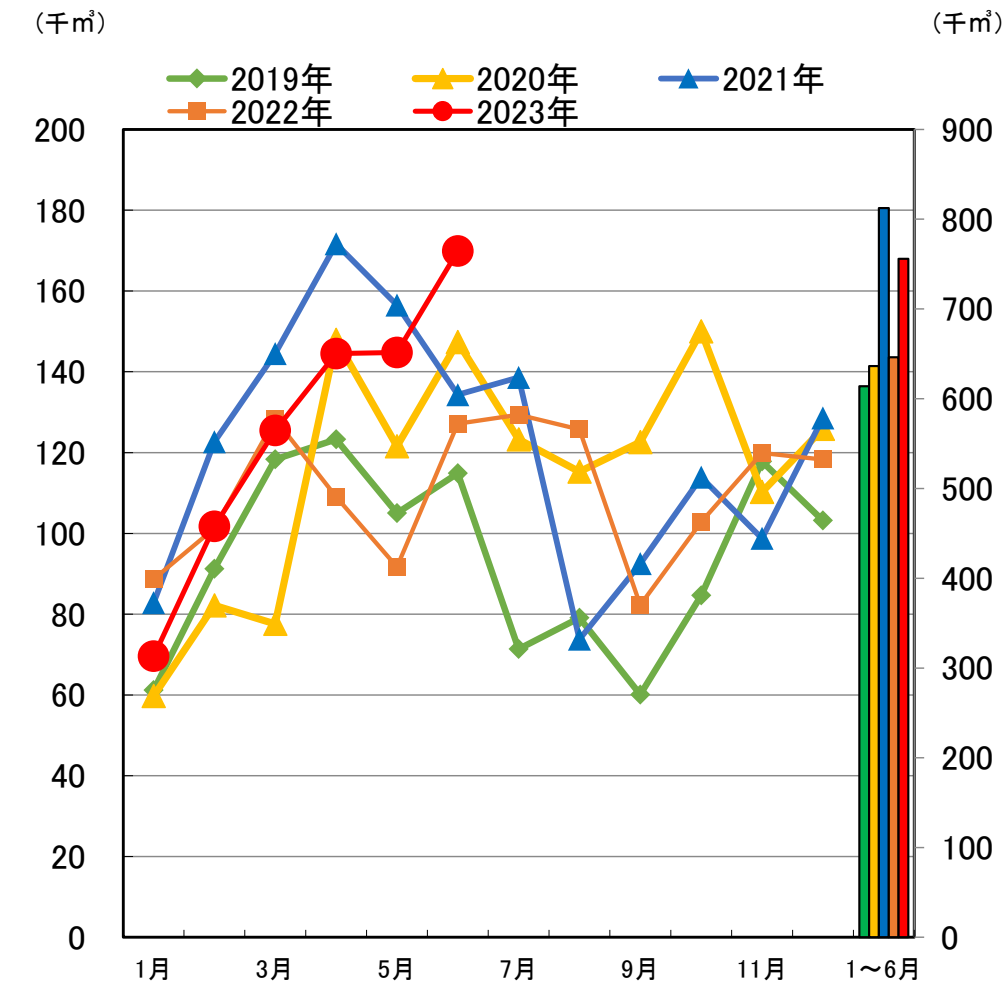


資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

- 令和5年6月単月の木材輸出量は丸太170千m³（前年同月比134%）、製材13千m³（前年同月比84%）、合板9千m³（前年同月比84%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計
※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	6月 単月			1～6月累計		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	159 145%	5 100%	0 30%	664 124%	27 80%	1 39%
韓国	4 51%	1 101%	0 8%	49 77%	4 84%	0 15%
台湾	6 88%	2 107%	0 —	39 89%	9 110%	0 —
米国	0 —	3 84%	0 0%	0 —	16 69%	0 6%
フィリピン	0 —	1 35%	9 87%	0 —	6 20%	57 92%
その他	0 —	1 264%	0 644%	0 —	3 108%	0 59%
総計	170 134%	13 84%	9 84%	756 117%	65 63%	59 89%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m³) 1～6月	比率 1～6月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	126.3	16.7%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	10.7	1.4%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	9.4	1.2%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	6.5	0.9%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	7.0	0.9%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	10.5	1.4%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	207.3	27.4%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	378.2	50.0%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない